



報 告 会

一般社団法人 人間力認定協会

理解は支援の第一歩！

支援の輪を拡げよう！

累計合格者は一万三千名

協会設立四年。新たな活動も視野に活動中！

お陰様で二〇一九年に当協会を設立してから四年が経過しました。「人間力認定協会」という名前の通り、人間力（非認知能力）を育成、認定、普及する目的で設立し、活動をしてまいりました。

現在は、児童発達支援士をはじめとする「発達支援」関連の活動をメインに行っており、当協会が認定している資格の累計受講者数は二万七千名を超えています。そのうち累計合格者数は一万三千名となっております。

二〇二四年には、発達支援に関する新たなサービスのリリースを予定しております。この新サービスは、児童発達支援士や発達障害コミュニティ

新たな活動も視野に活動中！

ケーションサポーターなどこれまで資格を取得された方も、これから資格取得を検討されている方どちらにも有益なものとなるでしょう。理事長ブログや Instagram など情報配信していきますので楽しみにしててください。

さらに今後は、発達支援関連以外の分野で活動することも検討しております。幅広い方々のお役に立てればと考えております。私どもの協会名にある通り、様々な人間力に焦点を当てて、世のため人のためになる活動をしてまいります。

共に支援の輪を拡げていきましょう！

今後皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

理事長コラム

認定支援士制度のすすめ

この制度は、児童発達支援士になられた方の中から継続して支援活動を行う人をサポートする目的でスタートしました。その特典として、

- ①療育に必要な動画教材へのアクセス
- ②療育エピソードDBへのアクセス
- ③意見交換会への参加資格

等がありますが、今では一般の会員様もその特典の一部を受けられるようにしております。

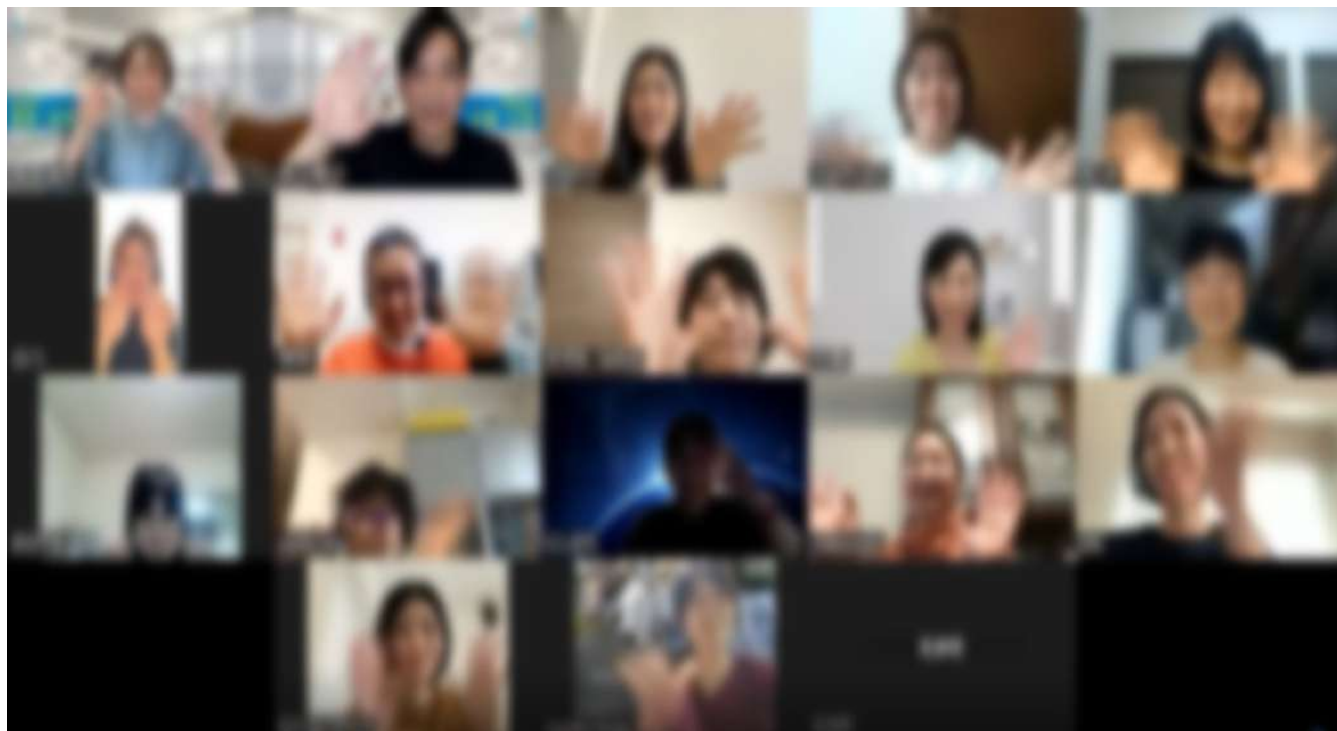
そのため現在では、認定支援士になるということは、協会と共に継続的な支援活動をしていくという、対外的な意思表示という意味合いが強くなりましたが、これは外部の人にとっては大きな信頼になることは間違いないでしょう。ぜひ私たちと一緒に支援の輪を拡げていきましょう。

一般社団法人 人間力認定協会

代表理事 井上智之



「意見交換会 in 石垣島」を開催しました



記念すべき第二十目の開催

意見交換会はこれまで二十一回の開催をさせていただきました。水曜日開催、土曜日開催を交互に繰り返し、幅広い年齢層の方及び様々な職種の方にご参加いただいております。

意見交換会の主なテーマは勿論「発達障害について」となりますが、毎回異なる展開となり、皆様が抱える悩みや不安、今知りたいことなどについて、活発に意見交換がされております。協会としても新たな発見が沢山あり、その発見が新たな教材開発や療育動画の作成などにかかれております。

二〇二三年五月に開催した第二十回目となる意見交換会は、当協会にゆかりがある石垣島より開催させていただきました。石垣島にお住まいの受講者の皆様

は、会場となるホテルにご招待、全国にお住まいの方はいつも通りZOOMのご招待という形をとらせて頂きました。

今後は、人間力認定協会の認定支援士になられており、積極的な活動をされている方を訪ね、そこから意見交換会や講演会などを開催することを検討しております。全国様々な場所に出向き、直接お話を伺ったり、施設を拜見することで、また新たな支援活動に繋がります。その活動が、発達障害で困っている当事者やご家族、施設のスタッフの皆様のお役に立てれば幸いです。

「取材に来てほしい」「講演を行ってほしい」というご依頼がございましたら、是非一度メールにてご相談ください。共に支援の輪を拡げていきましょう！

拡がる認定支援士の輪

新たにご登録いただいた認定支援士のご紹介

(2023.3.1 ~ 2023.8.31 ご登録者)

個人情報保護のため、ぼかしを入れています

認定支援士より頂いたメッセージをご紹介します

(全員のメッセージを紹介しきれないため、今回は一部の支援士のみご紹介します)

東ア
エリア

団体名なし
柳 禎子さん

―支援をして辛かった事は
自分が子どもを正しく理解
してあげられるまでの関わり
は辛かったです。感情的に
なつてしまい怖がらせてし
まったことも多かったと思
います。また、他者からの理
解を得ることも非常に難し
い思いをしました。どう頑
張ってもできないことを、
できないと困ると言われるこ
とは辛かったです。

―支援を行う上で大切なこと
その子の特性を理解するこ
とだと感じます。得意な頭
使い方を見極め、合ったア
プローチをすることで、望む
効果が得やすくなると思
います。
また、支援者が感情的にな
らず淡々と接することも大
切だと感じています。

東ア
エリア

団体名なし
匿名希望さん

―悩んでいる方へアドバイス
はありますか？

誰にもわかってもらえず、
本当に辛いですよ。とはい
え、打ち明けたときにもの
すごく同意されると今度は「
いや、そこまでではないです
」と反論したくなる。そんな
やり取りに疲れ、幼稚園の
送り迎えなどでママさんとの
距離を取りたくなることも
しばしばだとおもうし、無
知故に心無いかれと思つて
言われた言葉に傷つく場
面もあると思います。

でも、とにかく殻にこも
らず孤立しないで、と言
いたい。同じ思いをしてい
る人や行政などを利用し
て、まずは胸の内を話し
てみることをおすすめ
します。

道
北海
エリ

団体名なし
田中 美智さん

資格取得のきっかけは？

二十年以上保育士をしています。そしてずっと特別支援の責任者として仕事をしてまいりましたが自分のキャリアアップと少しでも子ども達に良い支援をしてあげたくこの資格を取得しようと思いました。そして私の息子も重度の自閉症です。障害を持っていても住みやすい、生きやすい世の中になるようお願いを込めて。

悩んでいる方へアドバイスはありますか？

自分の子どものことではやはり環境の構造化が一番大事と思っています。こっちが思っているより、自閉の子は不安なんですよね。

東
エリ

団体名なし
匿名希望さん

知識を習得して変化は？

小学校に入学した後やその後についても、どのような事が起こりやすいのか知るきっかけになったり、関わり方を学ぶ事ができた事は安心に繋がりました。

またコミュニケーションサポートを受講した際に学んだPREP法やTAPS法等は子どもの事に関する事でも何でも自分の考えを周囲に伝える時の方法として学ぶ事ができとても役立ちました。

SSRスペースリストに関しては、子どもにも実践してみたら、なぜならばの後も自分の思いや考えを伝えてきてくれた事に驚きました。聞き方を変えるだけで、返ってくる言葉が変わるんだなあと。

東
エリ

団体名なし
西ますみさん

支援をして辛かった事は

長男が思春期を迎えて反抗期から言うことを聞かなくなつた時は、自分自身が精神的にどうにかなりそうでした。

その頃の長男は自分がなぜ精神科に入院し支援級に通う理由に納得がいつておらず、わたしに不満を抱える長男の気持ちに父親が賛同して二人で私を責め、私だけが悪者にされました。

その当時の支援級の担任は私の相談に対して不思議な回答、無責任な回答を連発されたため、誰にも相談できない孤独感を味わい、いたたまれない気持ちでした。

～会員様の活動サポート～

活動団体やWEBサイトの紹介

皆様の活動を応援するために、当協会のWEBサイトにて皆様の団体やブログ等をご紹介します。もしご希望の方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください！支援の輪を共に広げてください！

(活動団体のご紹介事例)

